

建学の精神

「意志あるところ道あり」

大分臨床検査技師専門学校は、初代理事長平松克己により昭和41年に衛生検査技師の育成をもって設置されました。さらに昭和46年に大分歯科衛生士学院（現 大分歯科専門学校）が設置されるなど、時代が求める医療のニーズに応えるべく専門学校が増設され、平成18年に大分医学技術専門学校鍼灸師科の設置をもって医療福祉系列専門学校は現在の7校10学科へと発展してきました。

“意思あるところ道あり” これが学校法人平松学園の精神です。

医療福祉系専門学校は、建学の精神を教育に体現するため、「実学主義」を教育理念として掲げ、豊かな発想力と実践力を磨くことを教育の根幹としています。

教育の精神

「誠実、丁寧、知力」

誠をもって人を敬い、心をもって事に接し、知力をもって実学を得る。

医療福祉系専門学校は、教育理念である“実学主義”を体現するため、教育の精神を校是として掲げ、学生と教員がともに進む教育を目指します。